

# 令和4年度 学校経営報告

東京都立小平西高等学校長

井戸 康文

## I 今年度の取組目標と自己評価

### 1 学習指導

主体的・対話的な深い学びを定着させるためにグループ学習が段階的に増え ICT を活用しコロナ禍において学びを止めない環境の整備することができた。

一人一台端末を利用した授業により、今までとは異なるアプローチでの深い学びを実現した。

3年「選択地理演習」と1年「現代の国語」で一部生徒がポスター発表に参加。1学年の ClassiNOTE 利用の定着。コロナウイルス感染症対策でオンライン学習ではすべての教員が実施できた。

### 2 進路指導

進路指導満足度(85.3%)2. 大学入学共通テスト出願者数(118名)3. 日東駒専レベル以上の大学(GMARCH5名 成成武明獨國6名 日東駒専13名 順天堂大学2名等)2年連続で大学進路実績が良くなっていることは評価に値する。進路指導における模試の活用や進路行事については計画通り実施できた。日東駒専レベルへの進学者が増加した。

### 3 特別活動

部活動では加入率が下がってしまったが、学校行事は三大行事とも生徒の満足度が高かった。2年ぶりに3大行事すべてが行われ生徒の主体性や協調性を促すことができ、コロナ禍から通常活動への制限の中で新たな取組ができた。

### 4 生活指導

#### ア 規範意識の醸成

生活指導に関する成果について一番大事な安心と安全は引き続き指導を継続し高めていきたい。校則については生徒との話し合いも3回開催した。生徒に指導に対する信頼感が深まった。生徒自身に生活上の規範意識を様々な角度から考えさせることが規範意識の醸成につながった。

それぞれの規則について考える機会を与え、自らの校則の考えをもつことによって、生徒が落ち着いて行動するようになり、生徒同士が考え規範意識を高める行動が見受けられた。

#### イ いじめ防止対策

いじめ防止に対するアンケート SNS の使い方について講演会を実施した。

いじめに類するトラブルとして SNS に関して不適切な使用を繰り返す生徒が昨年より減少したが、根絶には至らなかった。今後もさらに情報リテラシーを学ばせる必要がる。

### 5 防災教育

防災教育推進委員会を2回実施した。

交通安全教育推進校として、交通安全はそれなりに取り組めたが、防災についてはまだまだできていないと思われる。担任団が防災訓練等で生徒の積極的な参加を促すことができた。

## 6 学校保健

学校保健の成果について建物が老朽化しているにもかかわらずこまめに清掃することにより清潔感は保たれている意見があった。健康安全対策については体育や部活動などで生じた怪我やその後のフォローなど家庭との連絡を密にとることができた。

## 7 募集・広報活動

感染症拡散防止対策を講じながら、新たな募集活動を展開し、来校者数をコロナ禍以前の数値に近づけることができたため、令和5年度の応募倍率が上がった。委員会を中心に在籍している生徒のよい部分の見せることで、その後輩にあたる受験生に対してアピールできたと。

学校説明会や個別相談を実施したことで、受験者増が実現できた。HPの更新により、学校内の様子や雰囲気はわかりやすいPRを実施することができた。

## 8 学校経営

服務事故はなく、苦情対応についても積極的に教職員の対応が迅速に対応し、信頼回復につながった。

新学習指導要領に対応し、観点別評価を実施することができ、C4thへの移行が進んでいる。

ICT機器の活用については、印刷する業務を削減し、入学者選抜業務や成績会議資料印刷業務で時間の短縮化につながった。

職員会議でペーパーレス化が定着し、さらにほぼ1時間以内で会議を実施することができた。

## II 次年度以降の課題と対応策

### 1 学習指導

個別最適な学びは今年度単発であったが、次年度の課題として全員で個別最適な学びに特化した授業を実施できるようにし、全員が研究授業を実施する。

ICT機器の活用は授業では多数の教員が行っているが、発展的に生徒と双方向の活用ではさらに研究することと、利用環境の不安定さの解消が必要である。

課題解決や協働的な学習の効果を教員も生徒も実感できるような事例を踏まえた授業実践が必要である。

大学進学を見据えた学習指導をするためにはある教科だけ指導を強化するのではなく学校全体で共通認識を持った上で、各教科で検討を進める必要があると考える。

協働的な学習はグループ内での役割分担が必要であり、グループを作る、グループ内での役割分担を作る、役割ごとの学びの成果をもとに話すことが必要だと痛感した。さらに教科横断的な学習指導が必要である。

### 2 進路指導

キャリア教育の継続性を キャリア・パスポートの活用

課題について英検2級が取得できると大学の一般受験が有利になる(成成武明獨國や日東駒専)。学習指導要領の年次進行で大学受験に改変が進み、総合型選抜にシフトした大学と今までの一般受験と生徒の適性を鑑み判断する。より生徒に適した受験方法で生徒に適した大学進学ができるように努める。

キャリア・パスポートについては、有効な活用ができていない。学年と進路指導部の連携がいかに重要であるかが再確認する必要がある。

### 3 特別活動の指導

「競技力・技術向上の部活動」と「楽しむための部活動」を整備し、生徒全員が活動できる機会を増やす。文化祭、体育祭、合唱祭の3大行事が生徒によって活動できるように組織体制を見直す。

部活動の在籍を強調した取組から活動の自主を強調した取組に移行したため加入率の在籍は減ってしまった。自主性がある部活動指導員が競技者・活動者主体の指導をすれば部活動に活気があふれる学校になる。

学校行事では生徒が球技大会を企画させ、自ら実行委員会を結成し実現に向けた取り組みをも活性化につながると考えられる。

ボランティア活動については学校全体の取り組みがコロナ禍で企画ができなかった。行事の断絶からあるべき姿を見直し、伝統を創り上げていくことが生徒・教員ともに課題となる。

### 4 生活指導

特別指導案件の多くに SNS が絡んでおり、本校での案件は、全国的な問題と思われる。正確な情報の伝達と SNS に対する研修をもとに適正な対応を検討し、学年との連携、指導内容の統一が必要である。

### 5 防災教育・安全教育の充実

避難訓練と防災訓練の企画を見直し、SDGs と防災活動が学校の軸として、行事の設定を検討する。実際に起こった被害を想定した上で避難訓練に変えなければならない。そして、連携を図った防災教育を企画する。

自転車事故がやはり一定数起きている。地域からの苦情は定期的に入ってきてしまった。自転車に対する乗車マナーを指導し、事故を予見し安全で他者を思いやる乗車を指導する。

### 6 学校保健

照明を明るくすることで暗い雰囲気を払拭し、明るく活気のある学校にすることが生徒の意欲につながると思われる。教室のロスナイが大きすぎて圧迫感があるので、できるだけ空間を広く見せる工夫する。保健室の悩み相談が多いことからスクールカウンセラーと連携し、情報を共有して対応を考える機会を増やす。

### 7 募集・広報活動

一番の広報活動者は生徒であり、生徒が充実している姿を多く広報できる機会を設ける。学校行事や部活動、授業から生徒の姿を志望する中学生とその保護者に見てもらい、ホームページを頻繁に更新し、学校全体で広報活動に力を入れる必要がある。

### 8 学校経営

「教育は人」ではあるが、教員の異動によって変わってしまわないよう持続的な経営を定着させる。そして生徒・保護者・地域から信頼される学校を目指し、教職員が課題を共有し、同じ方向で職務を遂行する。

職場環境の整備に関して、コロナ禍の影響もあり、教職員の人間関係が希薄にならないようにコンプライアンスを高める。業務の偏りにより多忙な環境を回避するよう改善策を講じることが肝要だが、より一層の校務整理を検討する。

目標項目			実績値	
			令和3年度	令和4年度
学習指導	主体的な授業ができたおと思う生徒の割合	80%以上	76.4%	—
	ペーパーレス化ができた授業の割合	50%以上	19.3%	—
	土日家庭学習時間 2時間以上	30%以上	9.0%	—
	自習室利用者数	2000人以上	1000	(800人)
進路指導	進路指導満足度	80%以上	84.7%	80.9%
	大学センター試験出願者数	120人以上	124人	118人
	日東駒専レベル以上大学合格者数	10人以上	13名	18名
	就職決定率	100%	100%	100%
特別活動の指導	学校行事満足度	80%以上	91.8%	87.0%
	部活動加入率	90%以上	82.8%	72%
	上位大会進出（都大会ベスト3 2以上）	5部以上	2部	3部
	地域貢献活動	25部以上	0件	2件
生活指導	生活指導のきまりへの理解度 生徒	90%以上	87.7%	90.7%
	生活指導のきまりへの理解度 保護者	90%以上	90.3%	89.9%
安全・保健指導	清掃に関する満足度	70%以上	55.0%	—
	特別支援教育委員会開催回数	7回以上	7回	6回
募集・広報活動	ホームページ更新回数	500回以上	340回	164回
	入試応募倍率 推薦	4.0倍以上	2.6倍	3.07倍
	入試応募倍率 一般	1.4倍以上	0.99倍	1.27倍
	学校見学者数（延べ）	2500名以上	951人	1935名
学校経営	本校に入学して良かったと思う生徒	80%以上	71.9%	77.4%
	本校に入学して良かったと思う保護者	80%以上	83.4%	86.0%
	指導が行き届いたと思う教員	80%以上	79.1%	76.8%